

感動をありがとう！！完全燃焼した体育大会！ テーマ「Burning heart ～掴め！心の優勝旗～」

5月22日(日)、3年ぶりとなる5月の体育大会を実施しました。吹奏楽部の素晴らしい演奏のもと、各団とも堂々の入場行進でした。縦横がきれいにそろい、力強い腕の振りと足上げは見事でした。各団の意気込みが伝わってきて感動しました。

体育大会テーマ「Burning heart」には、「心を燃やし続ける」つまり、「あきらめず最後まで全力でやりきろう」という意味が込められています。また、心の優勝旗とは、競技だけではなく、挨拶や返事、かけ足移動や精一杯の応援などを「自分は全力でやりきれた」と体育大会が終わった時に胸を張って言える気持ちになることだと思います。この体育大会を通して、たくさんの人が心の優勝旗をつかみ取ることができたと確信しています。

各団とも目標は「優勝」でした。そのために、自分のベストを尽くし、団に貢献しようと一致団結していました。その首頭をとったのが、応援団長であり、応援リーダーや各クラスのリーダーでした。そのリーダーシップのおかげでみんながまとまることができたのです。目標の「優勝すること」以上に、実はこの「協力して頑張ることの楽しさ」や「全力でやることの充実感」、そして「感動や元気、勇気、達成感」を味わうことが、本当の意味で大切なことなのです。もちろん、優勝した赤団はうれしかったに違いありません。しかし、青団や黄団も「楽しかった！やりきった！」と心から思えた最高の体育大会だったと思います。この体育大会を通して、生徒一人一人が、クラスが、学年が、そして学校全体が「成長」を実感することができました。

生徒諸君、感動を与えてくれてありがとう！！そして、応援していただいた保護者の皆さん、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、本当にありがとうございました。



中学校最後の体育大会、先生方をはじめ、多くの方々の支え、三中生全員の頑張りがあったからこそ、最高の思い出となりました。「団長」という責任ある立場でももちろん不安もありました。私一人だけじゃできないことがたくさんあって、それを応援団リーダーが補ってくれたり、団員の皆が話を聞いて行動してくれたり協力してくれたから、練習の時から楽しかったです。皆で協力して一つのことを成し遂げるということは、これから生活していく中で、とても大切なことだと考えました。体育大会という行事ができたことに感謝です。団長をすることができたことに感謝です。ありがとうございました。

(赤団長：藤好心愛さん)

私は、体育大会を通して自分自身も学校全体も、とても成長を感じることができたと思います。応援リーダーが決まり、結団式、全体練習と本番に向けて気持ちが入っていく中で、私は不安な気持ちでいっぱいでした。そんな中で、先生方からたくさんのアドバイスをもらいました。そして「前に立つならば、自分の言葉に自信を持って発言しよう」と決めました。そのために、まずは自分が変わらなければいけないと思い行動していく中で、自分の体育大会に対する思いが強くなりました。この体育大会で得た経験は、きっとこれから何か目標に向かう時、辛い場面や苦しい場面で支えになるはずです。体育大会で成長した自分、学校の集団で、これからも様々なことにチャレンジしていこうと思います。

(青団長：杉本蒼馬くん)

自分にとって中学生最後の体育大会。数多くの困難はあったものの、先生方、地域や保護者の方々、そして全力で体育大会に打ち込んでくれた三中生のみんな、いろんな人たちのおかげで無事、体育大会を成功させることができました。当日は、生徒一人一人がスローガンである「Burning heart～掴め！心の優勝旗～」を掲げ、見事にやってくれました。その姿を見て、団長としての自信、誇りが持てました。みんなと過ごした時間は、一生の思い出です。最高の宝物になりました。すっごく楽しかったです。団長でよかった！！本当にありがとうございました。

(黄団長：猪島克登くん)